

市立大学の設置に向けた「基本構想」の策定について

平成 18 年春の開学を目指す市立大学につきましては、その設置準備費に関する補正予算案が審議されているところですが、設置に関する基本的な考え方と枠組みを定める「基本構想」を9月上旬に策定・公表する予定です。

この構想は、市民論議の集大成である大学化検討懇話会からの提言趣旨を生かしつつ、設置者である札幌市の考え方を加えることによって、今後の大学設置準備を進めるうえでの指針とするものです。

1 基本構想の要点

(1) 大学化検討懇話会からの提言を踏まえた点

ア 基本理念

- ・国際的視野を持ちつつ地域社会への貢献を果たす。

イ 教育研究

- ・デザイン系学部と看護系学部の2学部を設置する。
- ・少人数教育を重視し、幅広い能力を備えた実践的な専門職業人を育成する。
- ・「産・看・学・公」連携で地域課題にかかわる研究に取り組む。

ウ 地域貢献

- ・産業界、保健・医療・福祉機関、大学、NPOなどとの多様な連携を通じて「地域産業」「保健・医療・福祉」「教育・文化、まちづくり」に幅広く貢献する。
- ・地域社会への貢献の拠点となる「産学連携」「看護・デザイン共同研究」「地域看護支援」に関する附属研究施設の設置を検討する。

エ 設置・運営

- ・透明性・柔軟性・効率性の高い設置運営を行う。

オ 開学時期

- ・平成 18 年春の開学を目指す。

(2) 追加または重点化した考え方

ア 市民に開かれた大学

学生の受け入れ、大学の管理運営、地域社会への貢献など、あらゆる面において、市民に開かれた大学とする。

イ 環境との共生

学生への教育における環境重視の科目やプログラムの導入をはじめ、研究面におけるエコデザインへの積極的取り組み、産学連携による環境産業の育成、環境に配慮したキャンパスの整備・運営などを検討する。

ウ ユニバーサルデザインの重視

デザイン系学部の専門教育においてユニバーサルデザインを重視するほか、デザイン系学部と看護系学部の連携・共同によって、ユニバーサルデザインの開発

や普及促進につながる取り組みを行う。さらに、障がいのある学生が安心して学生生活を送れる支援体制を整えるほか、キャンパスにおいても、あらゆる人が利用しやすい施設整備を行う。

上記のほか、「芸術・文化の振興」「道内自治体との連携」といった考え方も重視し、基本構想に盛り込む考えである。

2 基本構想の名称及び今後の進め方

(1) 構想の名称

「(仮称)札幌市立大学 基本構想」

～市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に向けて～

(2) 公表時期 9月上旬

(3) 今後の進め方

基本構想の公表後、大学教育の専門家を中心とする(仮称)大学設置準備委員会を設置し、基本構想をもとに、より具体的な検討を行い、15年度末までに基本計画を策定する。また、基本計画の策定に向けても、準備委員会における検討経過を公表しながら、広く市民意見を求めていく。

【問い合わせ先】

企画調整局企画部大学設置準備室

電話 011-211-2182, FAX 011-218-5112